



病院探訪!!

第4回

～薬剤部～



病院探訪第4弾!! 薬剤部から

病院で働く薬剤師って、どんなことしているのでしょうか?
これから一緒に病院薬剤師の仕事を見ていきましょう!

調剤業務

主に入院患者さんの内服・注射の調剤を行います。処方内容に疑義があれば、医師へ確認も行います。



抗がん剤調製

入院・外来患者さんに使用する抗がん剤を安全キャビネット内で無菌的に調製を行っています。調製前には、投与スケジュール、投与量を確認し、検査データに問題ないか確認を行います。



入院・外来抗がん剤の説明

安全で適切な抗がん剤治療のため、患者さんごとに投与スケジュールや投与量のチェックを行います。初めて投与する薬がある場合は、パンフレットを用いて、説明を行います。特に投与スケジュールや副作用とその対策については、時間をかけて丁寧に説明を行っていきます。



薬剤管理指導業務

主に入院患者さんに向けて、新規薬剤の効果・副作用の説明、服用・保管、取り扱い方法の指導を行っています。患者さんの薬に対する不安や疑問に答え、患者さんが、治療に積極的に参加していただけるようにサポートしています。



病棟薬剤業務

各病棟に一人以上薬剤師を配置しており、入院患者さんの持参薬を確認したり、内服や注射薬における処方内容の確認、医師とディスカッションを行い、患者さんごとに最適な処方設計を行っています。また、入院中、自分でお薬の管理が難しい患者さんに関しては、服用タイミング毎に1週間分の薬のセットを行っています。病棟薬剤業務を通して、入院患者さんの適切で安全な薬物療法をサポートしています。



薬物血中濃度モニタリング

治療効果や副作用に関する様々な因子をモニタリングすることで患者さん一人一人に最適なお薬の量を決めることです。これを薬物血中濃度モニタリングと呼びます。具体的には専用のソフトを用いて、患者さんの年齢、性別、体重などを元に、投与量の計算を行い、医師が患者さんに最適な投与量の提案を行っています。



医薬品の管理・情報

院内で使用する医薬品の安定供給のため適正発注・適正在庫に努めています。供給制限のある薬では、適切な薬へと代替を行っています。さらに、薬の新しい情報を職員へ周知しています。

窓口業務

主に検査前処置薬の説明、周術期薬剤確認、入退院支援センターでの術前中止薬の聞き取りの3つです。

- ①検査前処置薬は、大腸内視鏡の検査で使う薬の説明を行っています。
- ②手術前に服用を中止する薬があるか確認を行っています。該当する薬があれば医師に連絡し、手術が安全に行えるようにサポートしています。
- ③入退院支援センターでは、患者さんに中止が必要なお薬を休薬出来ているか、お薬手帳等の情報と飲み方や使い方に差異が無いか確認を行っています。



チーム医療と患者さん向け教室の開催

院内の栄養サポートチーム、感染対策チーム、抗菌薬適正使用支援チーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、認知症ケアチーム、骨粗鬆症リエゾンチームに参加し、薬剤師の視点で薬学的な介入を行い、患者さんの問題点を解決できるようにサポートしています。また、糖尿病教室、腎臓病教室などにおいて、薬剤師の立場より患者さんに対して、テーマを設けてお話しています。



これまで見てきた仕事以外には何があるかな～？

これまで紹介した業務以外にも、院内で使用する麻薬の管理業務、市販されていないお薬を院内製剤として調製したり、薬学部からの実務実習生の受け入れ、手術室での麻薬調製など多岐にわたる業務を行っています。

いかがだったでしょうか？薬剤師の仕事について理解していただけましたか？

これまでは薬剤師は目立つような存在ではなかったですが、これからは患者さんの前にどんどん出ていき、主にお薬を通して治療のサポートをしていきます。

最後に、薬剤部長より一言！

薬剤部では21名の薬剤師が在籍しています。私たちは「顔の見える薬剤師」を目指して、さまざまな業務に取り組んでいます。

また、お薬を有効かつ安心して使用いただけるように、日々最新の知識と技術を学んでいます。

その1つが病棟で活動する薬剤師(病棟薬剤師)です。

入院されると患者さんは入院から退院までの間、さまざまな場面でお薬が使用されます。薬剤師は入院時に面談を通して持参されたお薬のアレルギー、副作用歴について確認を行います。入院中には患者さんやその家族にお薬の効果、副作用、飲み方の説明はもちろん、お薬の効果があったのか、副作用がでていないのかも確認し、必要に応じて医師に処方提案を行います。また、医師や看護師だけでなく多くの職種と連携して効果的で安全な薬物治療をサポートしています。

身近に薬剤師がいることを知っていただき、お薬について疑問や不安があれば、薬剤師に遠慮なく相談してください。私たち薬剤師は患者さんが安心してお薬を使用できるように支援いたします。



薬剤部長 樋野 光生

お知らせ

在宅ケアに関わる職種対象の講座

西和MC在宅支援講座 (Web)

- 令和6年6月13日 (木) 17:30~18:30
皮膚・排泄ケア認定看護師 川西ゆき子



医療職対象の講座

地域医療連携講座 (会場とWebのハイブリッド開催)

- 令和6年5月16日(木)14:00~15:00
耳鼻咽喉科 薬剤部
- 令和6年7月18日(木)14:00~15:00
リハビリテーション科
リハビリテーション部

*変更の可能性もあります。
詳細はお問い合わせ下さい。



糖尿病に関心のある地域の皆さま対象

令和6年度外来糖尿病 教室のお知らせ

糖尿病に関心がある地域の皆様のための教室です。
お申し込みは西和医療センター栄養管理部まで。

テーマ
○5月29日(水)13:30~15:00 ・糖尿病の総論と最近の話題 (40分) 医師 ・食事療法①~適量とバランス~ (40分) 管理栄養士
○6月26日(水)13:30~15:00 ・食事療法②~合併症予防~ (40分) 管理栄養士 ・無理なく楽しく♪運動療法 (40分) 理学療法士
○7月17日(水)13:30~15:00 ・日常生活で気をつけることは? (40分) 看護師 ・自分で血糖を測ってみましょう (40分) 臨床検査技師
○9月11日(水)13:30~15:00 ・糖尿病のお薬について (40分) 薬剤師 ・みんなで話そう! 食事・運動・薬物療法のできた! できない? 全員



どれか1回のみ
の参加も大歓迎!!
まずは一度お問合せ
下さい。

- ◆ 申込先電話:
0745 (32) 0505
(内線2720)
- ◆ 場所:
西和医療センター事務棟
1階大会議室
- ◆ 定員: 各回15名程度
- ◆ 感染予防のため、マスク着用・
検温・手指衛生にご協力お願い
致します。

★表紙掲載のロゴマークについて

奈良県西和医療センターは安全で良質な医療サービスを提供するため、国際基準を満たした品質マネジメントを構築し、2022年12月12日にISO9001の認証を取得しました。医療の質における継続的な改善活動に取り組むことで「いい医療をより多くの患者さんへ」提供し、奈良県民の命と安全を守ることに貢献します。

「ファミリー」は年に4回の発刊を予定しております。地域の皆様の健康に役立ち、親しまれ愛される紙面作りをめざしてまいります。「ファミリー」とは、フランス語で「家族」という意味で、病院の理念「患者さんを家族のように愛する」から情報誌の名前としました。

住民の皆様役に役立つ情報・当院との連携についてなど、地域の登録医の先生方の投稿をお待ちしております。詳細は地域医療連携室にお問い合わせください。

発行・編集

奈良県西和医療センター情報誌

発行日 令和6年5月1日

編集者 地方独立行政法人奈良県立病院機構

奈良県西和医療センター 広報委員会

〒636-0802 生駒郡三郷町三室1-14-16

TEL:0745-32-0505(代表) FAX:0745-31-1354(地域医療連携室)

